

平成29年6月30日(金)
和歌山市第4在宅医療・介護連携推進センター研修会
 (大日俱樂部オリオン)
アンケート結果

参加者数	82名
アンケート回収数	64枚
アンケート回収率	78%

「利用者さんの様子がいつもと少し違う・・・」
 こんな時、あなたはどのように見分けますか？

高齢者の緊急性の見分け方

日々変わる利用者さんの体調を管理する中で、不安・疑問に思うことはありませんか？
 在宅診療という専門的な立場から、高齢者の緊急性を見分ける方法をお話させていただきます。

研修会

■日時 2017年6月30日(金)
 18:30~19:30

■場所 大日俱樂部 オリオン
 和歌山市精神120番地の05

■講師
 医療法人社団 中谷病院
 在宅診療部 部長
末本 浩基 医師

■対象 地域の医療・介護関係者

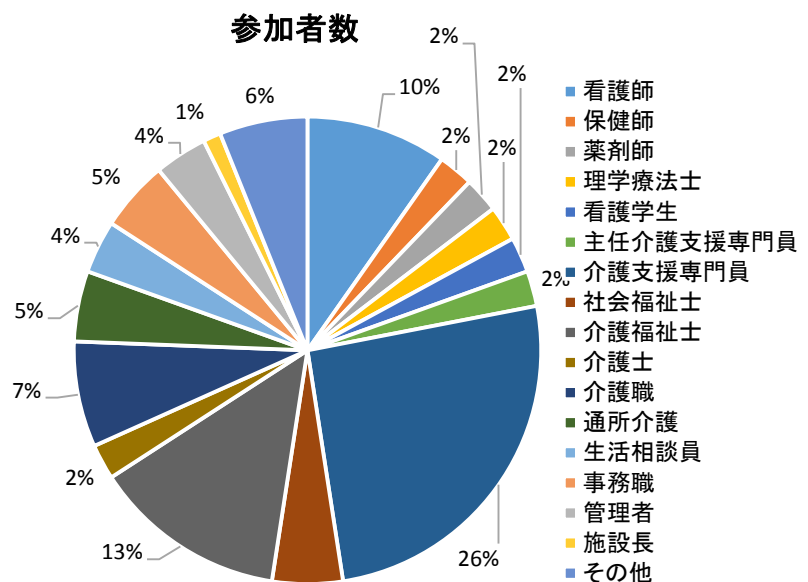
■定員 30人(事前申込者)

■申込方法 参加申込書(裏面)に必要事項を記入の上FAXをお送りください

■申込締切 平成29年6月23日

和歌山市第4在宅医療・介護連携推進センター
 住所:〒640-8303 和歌山市精神123番地の01
(医療法人社団 中谷病院内)
 TEL:073-473-2863 (9:00~17:00)
 FAX:073-473-0864

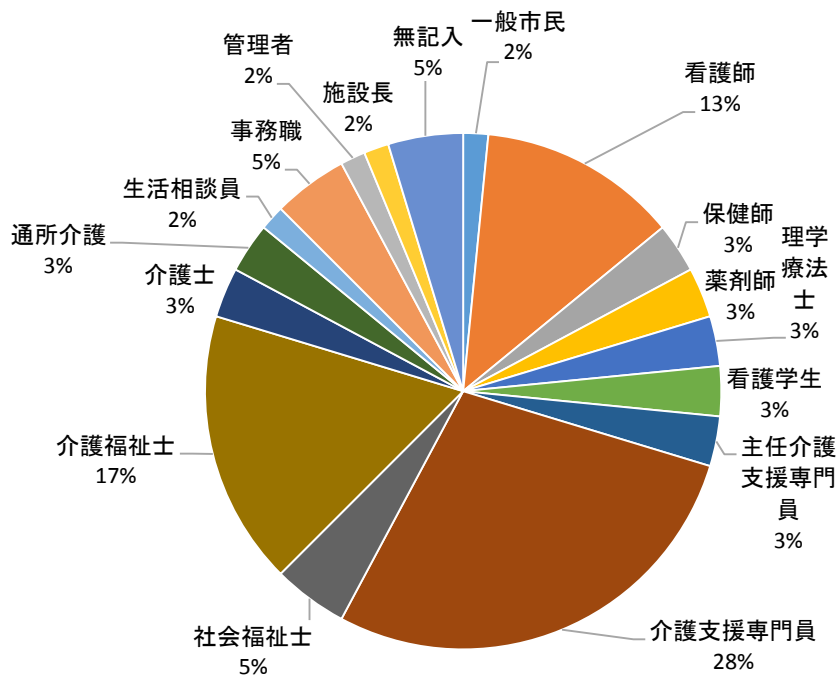
参加者数	
看護師	8
保健師	2
薬剤師	2
理学療法士	2
看護学生	2
主任介護支援専門員	2
介護支援専門員	21
社会福祉士	4
介護福祉士	11
介護士	2
介護職	6
通所介護	4
生活相談員	3
事務職	4
管理者	3
施設長	1
その他	5
合計	82



1. あなたのことをお聞かせください

アンケート回収数

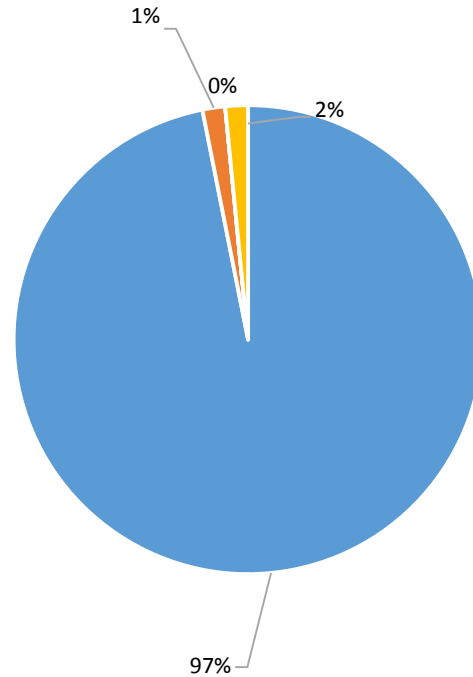
一般市民	1
看護師	8
保健師	2
薬剤師	2
理学療法士	2
看護学生	2
主任介護支援専門員	2
介護支援専門員	18
社会福祉士	3
介護福祉士	11
介護士	2
通所介護	2
生活相談員	1
事務職	3
管理者	1
施設長	1
無記入	3
合計	64



2. 本日の研修会を受け、「高齢者の緊急性の見分け方」は分かりましたか。

よく分かった	62
あまり変わらない	1
分からなかった	0
その他	1

- よく分かった
- あまり変わらない
- 分からなかった
- その他



感想をお聞かせください

【看護師】

- ・日頃、介護スタッフを指導したり相談したときの、自分の対応・指導・判断が合っていたと確認できた
- ・具体例や事例があり、実務に活かせる
- ・ポイントが簡単な説明だったのでよく分かりました
- ・介護職の方々にきいてもらうとよかったですと思います
- ・勉強になりました

【保健師】

- ・チョコの例がアイスブレイク&専門職でないと分からないことに繋がっていて、面白く分かり易かった
- ・データをたくさん示して下さいだったので現状がよく分かった
- ・具体例をみんなで考えながら、緊急かどうか考えられたのは分かり易くてよかった

【薬剤師】

- ・説明がシンプルで分かり易かった
- ・イメージが湧き、理解が進んだ

【看護学生】

- ・緊急性の診断についてよく分かりました
- ・すぐに受診するのか、経過観察でいいのか患者の状態から予測される疾患を考えることにもつながるのだと思いました

【社会福祉士】

- ・夜勤帯での対応に余裕を持って出来る様になったと思います
- ・内容よかったです

【介護支援専門員】

- ・よくわかりました。在宅での高齢者の独居の方の関わりで普段と違う点が数値を目安に緊急性の優先順位はよく分かった
- ・今後の業務に役立てます
- ・ポイントが良く分かりました
- ・状態を観察し、報告、相談等して判断する・・・ということがよく分かりました
- ・一旦落ち着いて、受診するかどうか判断できるように職員で共有したいと思いました。
- ・家族への説明も行いやすくなりました
- ・わかりやすかったです
- ・キーワードが覚えやすかったです

【介護福祉士】

- ・日々高齢者と関わりを持つ中で、いつもと違うという事を発見し、その後どのような対応が必要かよく分かりました
- ・例を出してお話してくれたので分かりやすかったです
- ・受診を早急に受けるかどうかの判断基準など詳しくわかりました
- ・具体的な場面を想定していたので分かりやすかった

【通所介護員】

- ・楽しく勉強ができた
- ・すぐに受診ではなく病院に相談や観察が必要だと思いました。いろいろな見分け方があるので参考になりました

【介護士】

- ・業務の上で高齢者の方に接していく中で、日頃からの観察を怠らないようにしていきたいと思います
- ・具体的な事例をあげて、説明して下さったのがすごくわかりやすかったです

【その他】

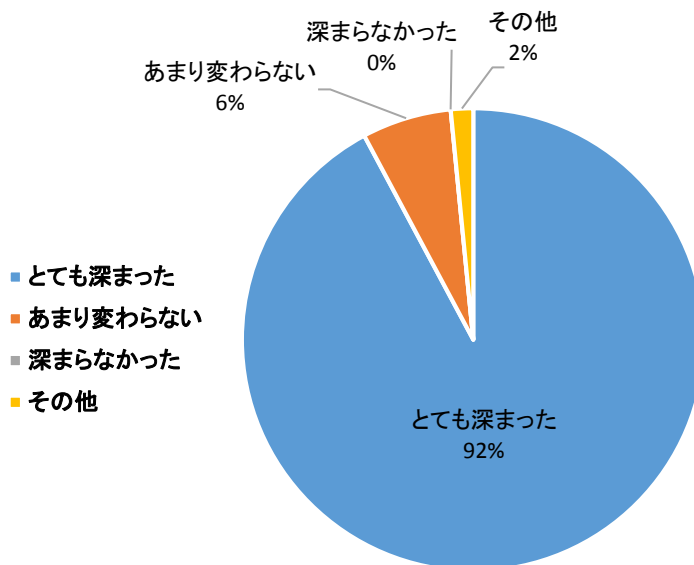
- ・例も付けて頂ければ、スタッフに説明しやすいと思います
- ・目安のポイントが分かりやすかったです

【無記入】

- ・SPO2値がとても大切な目安になるという事がわかりやすかったです
- ・相談することで職員の不安も少なくなるので相談することは大切だとわかりました
- ・緊急時の対応で、発熱+αで見つける事が理解出来た

3. 本日の内容を知ること、在宅医療への理解は深まりましたか。

とても深まった	59
あまり変わらない	4
深まらなかった	0
その他	1



【看護師】

- ・現在行っている訪問看護はDrへ相談をし対応して頂けていることで成り立っているものだと思ってます。これからもDrへの相談を的確に行えるように心掛けたいと思います
- ・より興味を持ちました

【薬剤師】

- ・事例の紹介してもらえたので現場での患者の体調変化のイメージがつかめた。また対応例も大変参考になった

【看護学生】

- ・介護現場での対応の仕方だったので在宅での判断(サチュレーションがない場合)も知りたいと思いました
- ・家族は緊急性を判断することはできないので、私たちが指導できるようになりたいと思います。

【介護支援専門員】

- ・わかりやすい説明であり理解しやすかった。
- ・オペレーター、相談窓口等があれば心強いと思いました。

【介護福祉士】

- ・日々普段から他職種と情報を共有しておく事が大切である

【社会福祉士】

- ・また先生の話聞かせてください
- ・もっとたくさんお話を聞きたかったです

4. 「今後こんなことが知りたい」や「地域でこんなことに困っている」など、何でも意見をお聞かせください

【看護師】

・施設看護師に対しての講演会も聞きたいです

【保健師】

・介護職向けの今回のテーマとてもいいと思いました。お疲れ様でした。ありがとうございました。

【薬剤師】

・薬剤師としての問い合わせが多い、初回薬の副作用について教えて欲しい。薬疹など緊急性のあるものを中心に。

【看護学生】

・今後は在宅の場での対応で救急車が来るまでに何かできることを知りたいです

【介護支援専門員】

・医療の必要な方の必要性の伝え方。家族が理解してくれない方への説明・理解していただける為の伝え方
・高齢者の受診状態。病院に送迎してもらえればうれしいという声が多くある

【介護福祉士】

・もう少し緊急性の見分け方を知りたいです

【社会福祉士】

・なかなか自発的に勉強しないので、またこのような機会を作っていただけたらとおもいます

【その他】

・認知症の方々へのケア

